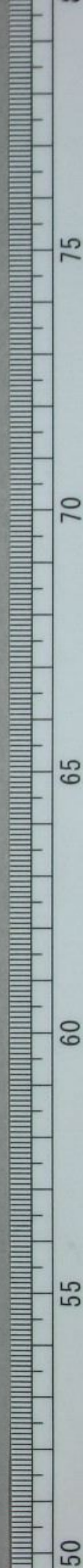
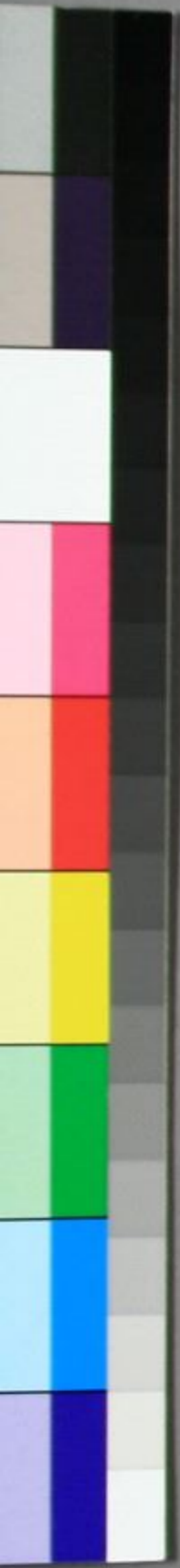


朝蒙志乃回

九

| |
|-----|
| ヲ多9 |
| 679 |
| 9 |





組書書記法十組



菽谷舍維篤撰

一二三書

之姓書

系圖書

八卦書

四季の景香
 三種加客香
 小倉香
 州一本香
 扇繪合香
 源氏拾遺香



四季の景香

源氏拾遺香

一二三香 三種

一の香 一色 二乃香 二色

二の香 二色

右各試しあり香二色あり

試なり十粒の如くはあり 長日丸

一二三香之記 香組

一 二 三
 日 日 日

三 一 二 二 二 二

名
致

一
二
一
二
一
二
一
二

皆

同

一
一
二
一
二
一
二

二

同

一
一
二
一
二
一
二

二

同

一
二
一
二
一
二

二

同

一
一
二
一
二
一
二

二

月日

於何亭
出焉

三
旌
香

三
種
酒

一
乃
香

色

二
乃
香

色

二
乃
香

色

右各賦之中香及色之門之方標也一色錢是
源氏香の如く一色標之圖に花も色も同

田

綠
樹
林

田

孤
峯
雪

田

琴
音

田

隣
家
梅

尾苑露

二短香之記 香爐

一 音洛
二 日
三 日

系 尾苑露

同 綠樹林

同 隣家梅

同 琴音

同 孤峯雪

月日

系圖香 四種組

於何亭
出香誰

一乃香 罨 二乃香 罨

之乃香 罨 日乃香 罨

右各賦此中香十六色之日乃香每十二色錢也

源氏香の如く此種香は此の如くあり

点と心傍あり

四四四
 四四四
 四四四
 四四四
 四四四

右中又小变化之包象

系象香之記

香組

一 香
二 日
三 日
四 日

之 一 一 二

系

𠄎

正点一

𠄎

𠄎

正点二

𠄎

𠄎

正点三

𠄎

𠄎

正点四

𠄎

𠄎

正点五

月 日

於何亭
如香惟

八卦香

四種組

一乃番 二色
二乃番 二色
右者成す中音七色一色二色俱万強を
一二二一一二二二二二方二方一
色色色色色色色色色色色色色色色
一二二の二色打更海もはなつた二方二
の形海にたのたの徳もはなつた

二六卦 二乃番 一四卦
二乃番 二乃番 一初卦
又或也
二二二
二二二
二二二
巽
震

中音中音を右乃初二二二二二
右者成す中音七色一色二色俱万強を
一二二の二色打更海もはなつた二方二

尚り一止は皆入り下ノ貞一止は尚り利一
 祀一取尚りに亭一祀と 水組香別傳あり

八卦名

| | | | |
|---|---|---|---|
| ☰ | ☱ | ☲ | ☵ |
| 乾 | 兌 | 離 | 震 |
| ☶ | ☴ | 艮 | ☷ |
| 坤 | 巽 | 坎 | 艮 |

八卦香之祀
 香爐
 一 二 二 一
 一 二 二 一

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名 | 名 | 名 | 名 |
| 祭 | 祭 | 祭 | 祭 |
| ☱ | ☲ | ☵ | ☷ |
| 巽 | 離 | 坎 | 坤 |
| ☳ | ☴ | ☶ | ☱ |
| 震 | 巽 | 艮 | 兌 |
| ☰ | ☱ | ☲ | ☵ |
| 乾 | 兌 | 離 | 震 |
| 利 | 利 | 利 | 利 |
| 亭 | 亭 | 亭 | 亭 |

於何亭
 如香爐

四香小香傳 香爐

一の香 色
二の香 色
客の香 一色

右の紙は...
一二の香の色除き七色と...
七の香の色除き七色と...
七の香の色除き七色と...

七の香の色除き七色と...

初年 春 二時 夏 二時 秋 四時 冬

雪 六月 七 苑

後の一粒と...
香の字は...
香の字は...

春の香 蓬生 春の香 一合

春の香 難波津 春の香 三合 東風

春の香 暁夜 春の香 二合 空野

春の香 蟬声 春の香 一合 氷室

右之類の如くおもむきを客と二五く
は組者別は他あり

四律の何れも皆の純音也

二一ニ一ニウニ
胡山

名集
一三二二二ウ
蟬声雪

同 一三二二二ウ
雁夜眠

同 一三二二二ウ
蝶舞雪

同 一三二二二ウ
胡山花

月日
於何亭
出番催

三種加客音 四種組

一乃音 二色 二の音 二色

二乃音 二色 客の音 二色

右各試が、も孝子二色と凡九色母二色環を

都の試は十拍音の道端の何れも正法

二種加客馬紀香題

ウニニ一

ニニ一ウニウニ一

集

一 一 二 二 一 二 二 一 二 二

皆

同

一 二 二 一 二 一 二 一 二 二

五

同

一 二 二 一 二 一 二 一 二 二

二

同

一 一 二 二 二 二 一 一 二 一

六

月日

於何亭
出番誰

小倉馬

香題きしゆ法事し馬香しゆしゆ

おと名目遠くはかりたらし

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

ちんちん

ちんちん

あつちん

あつちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

あつちん

あつちん

ちんちん

ちんちん

小倉書院 齋

ちんちん

名茶 せり

同 ちんちん

同 ちんちん

同 ちんちん

月日

於河序
如香惟

草木香 虫香

一乃香 二色 二乃香 二色

二乃香 二色 三乃香 二色

虫乃香 二色

右各減あり 虫香二色なし 虫香

たのふと徳あり

|||||

初ころ

|||||

小ころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

|||||

あまころ

回回回回回回

かのたま
のえは
なにか
はにか
はにか

回回回回回回

まはく
はにか
のえは
はにか
はにか

あまのこゝろをたのしみてはなすはなす

木の石目石目

あまのこゝろをたのしみてはなすはなす

あまのこゝろをたのしみてはなすはなす

あまのこゝろをたのしみてはなすはなす

草花の香

香

二二二

二二二

二二二

| | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 名紫 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 |
| 野道のう | あはれう | あはれう | あはれう | あはれう |
| 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 | 𠄎 |
| 咲はらら | あはれう | あはれう | あはれう | あはれう |

月日

於何亭
出香櫃

扇繪合香 五種

青扇の香 二色 白扇の香 二色

紅扇の香 二色 紫扇の香 二色

黄扇の香 二色

右各紙に中書平に色也初後と書く二粒は
一箔七箔初二粒中一箔中一箔
青扇の香又初二粒後一箔中一箔
初一粒後二粒中一箔白扇の香二粒中一箔
中一箔中一箔中一箔中一箔中一箔中一箔

初青扇
後紅扇
初青扇
後紫扇
初紅扇
後紫扇
初黃扇
後黃扇

常夏

杜若

籬栗

山吹

右名月より花海にありて

あけの河もよ一と流る 丘あけの山吹

世は昔思方小傳あり

初青扇
後白扇
初紅扇
後白扇
初白扇
後紫扇

卯花

園梅

指蒸

扇繪合書に花巻

青扇
紅扇
白扇
紫扇
黄扇

青扇
白扇
黄扇
白扇
青扇
紅扇
紫扇
紅扇
青扇
紫扇

系 杜若

甲丸

指蒸

山吹

籬栗

園梅

常夏

園 卯花

山吹

指蒸

常夏

芭蕉

園梅

杜若

園 卯花

常夏

山吹

芭蕉

杜若

園梅

指蒸

同 常夏 山吹 柑皮 卯丸 芭蕉 杜若 園梅

月日

於何亭 七音雅

源氏拾遺書

源氏書成之時 後漢の半色より

初作と 音 二瓶の替りきり成 黄

又替りきり成 又替りきり成 白

又替りきり成

右の如く名目と替りきり成半燈の如

く記述と用ゐる上は初結を以て後

替りきり成

源氏拾遺書

丑二 二二 丑二 二二 丑二 二二 丑二 二二

各条 別別 別別 別別 別別 別別 別別 別別 皆

同 別別 別別 別別 別別 別別 別別 別別 丑十一 星二

